

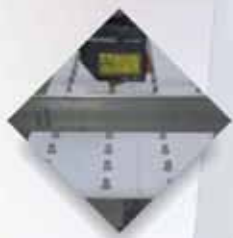
Yokohama
National
University

Premium time

博士課程で、
磨き、育てる

なぜ博士課程へ進むのか

追う者にしか見えない夢がある



Round-table talk

座談会

ドクターコースへ来て、 よかったのか...

出席者 寅丸 雅光 物理情報工学専攻 博士課程後期2年
上野 和英 機能発現工学専攻 博士課程後期1年
大川 鉄平 システム統合工学専攻 博士課程後期3年
豊田 希 システム統合工学専攻 博士課程後期3年
松本 知子 物理情報工学専攻 博士課程後期2年

【進行】 大矢 剛嗣 大学院工学研究院 知的構造の創生部門 荻野研究室 助手 博士(工学)



profile

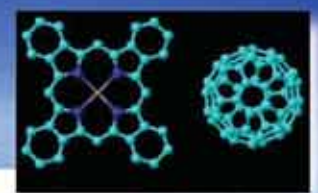
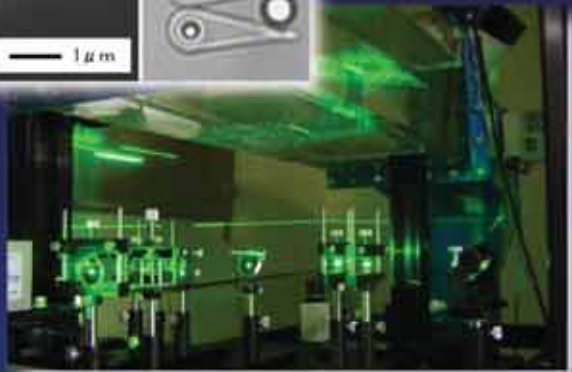
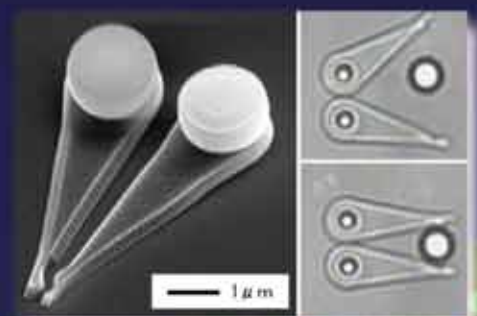
寅丸 雅光
物理情報工学専攻
物理工学コース
博士課程後期2年

田中・首藤研究室
研究テーマ マタン吸着シリコン表面のSTM観察
趣味・特技 旅行、映画鑑賞、料理、パソコンで遊ぶこと
大学(NHK)の技術研究所へ毎日ほぼ通勤している。朝は7時が8時に起床し、9時~10時に登校。夜は、早ければ8時頃、遅いときは11時頃学校を出る。お昼ごはんは、昼頃は学生があまりいないので弁当を買っていき、NHKでは職員さんと食べる。

博士課程への進学を決めたものは何か
大矢 最初に、皆さんが修士課程から博士課程へ進んで、生活に何か変化が出たかどうかお聞かせください。
豊田 私は特に変わっていません。学部1年のときから朝から授業がずっとありましたから。
上野 生活自体はそんなに変わっていません。変わったのは、学校でやるのが違ってきました。作業の量も増えました。
大川 学校でやることは、ずいぶん変わったと思います。学部と修士のときは先生にいわれることをやっていればよかったのですが、博士課程では自分で考えてやるようになりま。後輩の指導もしなければなりませんから、半分職員みたいな感じでもあります。
松本 修士まではアルバイトもしていたし、生活しながら研究をしてい

たという感じでしたが、ドクターに入ってから学校にいる時間のほうがずっと長くなりました。
寅丸 僕も修士の頃はアルバイトをしていましたが、いまはやっていません。それ以外はあまり変わっていません。いまは時間があって早く家に帰るくらいなら、研究室にいたいんです。
大矢 皆さんが博士課程に進むことを決めた理由やきっかけについて聞かせてください。迷ったり、悩んだりしたこともあるのでしょうかと思えますが、そのあたりの話も含めてお願いします。
大川 もともと研究職に憧れを持っていました。M1の頃、学校に向向してきた企業の方が、修士で会社に入る場合、自分の希望通りの仕事ができる確率はかなり低くて、ほとんどの場合会社の都合に合わせて使われる」といっていたので、それなら、研究職につくために博士課程に進学しようと思った決めました。
上野 いくつか理由があって、不純というが、個人的な理由の一つは、ちょっとだけ人と違うことをやってみたいという性格が頭をもたげて、博士課程を選んでしまったということがあります。ほかには、人間的にすばらしい助手の先生に出会って、こいつう人になりたいと思ったことも理由の一つです。それから、せっかくこの研究室にいたのだからこの

研究が楽しくて楽しくて...
このまま博士課程へ
行ってもいいかな、と。
.....【寅丸 雅光】



森へ分け入る者、
海へ漕ぎ出す者、

未知の世界を目指す者に与えられるもの。それは彷徨と疲労、そしてときに挫折。しかし、旅の終わりに授かるものは、金色の一滴、夢の実現。勇気をもって、知の旅を志した先輩たちがいます。だれもが地図は持っていなかったけれども、冒険心と独自のコンパスを用意していました。博士課程を目指すとき、どのような覚悟が必要なのか、どのような挫折を味わうことになるのか、どのような未来が待っているのか、先輩たちに聞きたいことは山ほどあるはず。

未知の世界を目指す者に与えられるもの。それは彷徨と疲労、そしてときに挫折。しかし、旅の終わりに授かるものは、金色の一滴、夢の実現。勇気をもって、知の旅を志した先輩たちがいます。だれもが地図は持っていなかったけれども、冒険心と独自のコンパスを用意していました。博士課程を目指すとき、どのような覚悟が必要なのか、どのような挫折を味わうことになるのか、どのような未来が待っているのか、先輩たちに聞きたいことは山ほどあるはず。



profile
上野 和英
機能発現工学専攻
先端物質化学コース
博士課程後期1年

渡邊・今林研究室
研究テーマ イオン液体を用いたコロイド界面科学に
関する研究
趣味・特技 バイク、買い物、釣り
研究材料を作っているの、いつも有機溶媒の臭
いの中にいる。朝は10時頃に来て、夜はバイク
で来ているので10時30分の開門前には出る。昼
は後輩といっしょに「食」(第一食堂)で食べ
るが、最近は忙しいのでパンを買ってきて食
べながら作業することが多い。

分野のすごさをもっと勉強して出て
行くべきではないか、ということも
思いました。決めたのはM1のとき
の夏でした。

松本 私は、最初はドクターコース
へ行く気はまったくありませんでし
た。修士を卒業して就職を考えてい
ました。それがM1あたりから研究
がおもしろくなってきた、考えてみ
ると修士までだと研究するには時間
が短すぎるので、ドクター行きを決
めました。それに研究職に就くには
博士の学位が必要だと聞いていたし、
毎年社会人ドクターとして入学して
くる人を見ていましたから、やはり
学位は必要で、いつかは取ると思
っていました。

豊田 私もまったくドクターは考え
ていませんでした。進学を決めたの
はM2の5月頃です。就職と進学と

学会発表、留学などは、
ドクターならではの経験

大矢 ドクターに入ったからこそで
きた、というような経験をしたこと
はないですか。

豊田 M1の頃から学会発表に行か
せてもらって、貴重な経験になりま
した。いまでもまだ緊張しますが、
最近は英語での発表もさせてもらっ
ています。

大川 僕は半導体の表面の研究をし
ていますが、一つの手法で分かるの
は一つの情報だけで、ドクターに進
んでからは、研究室では買えないよ
うな高価な設備を持った外部の施設
で実験する機会も増えて、研究室で
はできない高度な手法を体験するこ
とができました。アメリカのイリノ
イ州で1年間の留学ができたことも
ドクターに入ったからできたことだ
と思っています。

大川 指導教員の先生の代理という
形で研究会や学会に出席したりして
月に1度くらいは出張があります。
ドクター2年のときは、日本科学協
会の助成を受けることができ、テ
ンマークへ3週間ほどの留学体験も
できました。就職した場合との大き
な違いということでは、文献調査等
に費やせる自分の自由な時間がかな
りあることじゃないかと思っています。

大矢 同期の友人の話聞いてどう
思いますか。友人の話から、ドクタ
ーにいてよかったですと自信を持ってい
えるようなことがありますか。なか
には深く考えずに周りにつられて就
職している人もいるかもしれませ

研究会や学会へ
度々行けるようになり、
月に1度くらいは
出張がある。……【大川鉄平】



ちょっとだけ人と違うことを
やってみたいと考えて、
博士課程へ。……【上野和英】

天びんにかけていて、会社の推薦を
取るが取らないか、という時期でし
た。学部2年のときに、いまの指導
教員がトロイダルCVTについて熱
く語っていたのを聞いて、絶対その
研究室に入らうと思ったんですが、
最初は違うテーマを与えられ、それ
なりに満足感を得ていました。その
後M2になってからCVTの研究を
しないかという話が上がりましたが、
ドクターへの気持ちが強くなったん
だと思っています。



profile
松本 知子
物理情報工学専攻
電気電子ネットワークコース
博士課程後期2年

河野研究室
研究テーマ UWB無線通信のための通信路符号
化に関する研究
趣味・特技 映画、登山
個人ベースで研究をやるので、学校へ来る時間
はまちまちだが、午前中には登校している。帰
りは早くて7時~8時、昼食は買ってきてデス
クランチが多い。夜は家から用意したものを食
べる。たまにはみんなで食べにいったりもする。

ドクターへ進むときに
一番考えたのが
資金面だった。……【松本知子】



大矢 どちらかという不安になる
部分があります。社会に出てがんば
つていて、仕事を任せられたりしてい
ることもあるし。あちらは社会人で、
こちらはまた学生、という立場の違
いがありますから。
松本 ドクター卒の場合、専門性が
高くなるので就職の選択肢はマスタ
ー卒より狭くなることもあるかもし
れませんが、逆にドクター卒でなけ
れば進めない道もあるでしょう。進
学は自分で決めたことですから、人
の様子を見て不安になったり後悔す
ることはありません。

研究に行きつまったら
こつとして突破

大矢 研究や作業の段階で皆さんが
行きつまったとき、どのように対処
しているのでしょうか。

上野 2通りあります。一つはいま
やっているものとはまったく別のテ
ーマのものを勝手に作り、満足して
から戻ると、いまのところ100%
成功します。もう一つの方法は、遊
びに行ってしまうんです。バイクで通
っているの、遠回りして帰ったり
します。

大矢 僕はただひたすら続けます。
できるまでやり通します。装置が壊



profile
大川 鉄平
システム統合工学専攻
海洋宇宙システム工学コース
博士課程後期3年

角研究室
研究テーマ 変動振幅荷重を受ける
構造体の疲労き裂伝播シミュレーシ
ョン
趣味・特技 サッカー、フットサル
シミュレーションの研究をしているの
で、だいたい学校でパソコンの前に
いることが多い。9時~10時頃登校。忙
しいときには夜の12時頃までやってこ
る。昼食は後輩たち(二食)第一食堂(一食)で食
べながら作業することが多い。

Data 1

博士課程修了者の 進路

博士課程の先輩たちは、修了後、多様な道へ進んでいます。
研究室での研究をさらに深化させる者、3年間の研究を基礎として応用力を発揮する者、
新しい才能の開花を支援する者など、その進路はさまざまです。

就職状況 (平成15 - 17年度)

分野	専攻	機能発現工学	システム統合工学	社会空間システム学	物理情報工学	合計
国内大学		4	2	5	9	20人
国内研究機関		3	2	0	1	6人
国外大学		0	1	6	5	12人
国外研究機関		0	0	1	0	1人
民間企業		6	6	6	9	27人
社会人ドクター		5	13	1	1	20人
その他		0	0	3	1	4人

修了者の具体的な就職先 (平成15 - 17年度、社会人ドクターを除く)

機能発現工学専攻

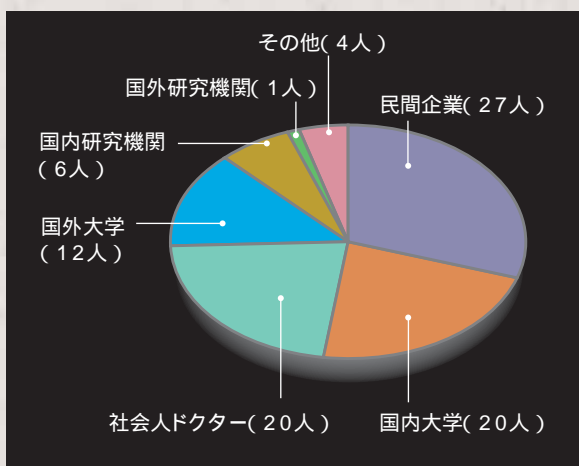
- | | |
|-----------|--------------|
| 東京大学 | ズードケミー |
| 東京農工大学 | ソニー |
| 名古屋大学 | ソニーセミコンダクタ九州 |
| 横浜国立大学 | 東レリサーチセンター |
| 科学技術振興機構 | 日本アナリスト |
| 産業技術総合研究所 | バイオマトリックス研究所 |

システム統合工学専攻

- | | |
|-----------|------------|
| 大阪大学 | 出光エンジニアリング |
| 横浜国立大学 | 韓国ハイニクス |
| 産業技術総合研究所 | 共和合金 |
| メリーランド大学 | サムソン |
| 石川島播磨重工業 | ソフトクリエイト |

社会空間システム学専攻

- | | |
|--------------|-------------|
| 岡山県立大学 | プリマス大学 |
| 筑波大学 | 釜慶大学校 |
| 名古屋大学 | ルフナ大学 |
| 横浜国立大学 | 韓国国立消防研究所 |
| 現代文化研究所 | 旭化成ホームズ |
| タマサート大学 | 川口衛構造設計事務所 |
| チェコ工科大学 | タイ国建設会社 |
| バン格拉デッシュ工科大学 | ベトナム水資源環境会社 |



物理情報工学専攻

- | | |
|--------------|----------|
| 青山学院大学 | メリーランド大学 |
| 香川大学 | NTTドコモ |
| 九州大学 | 三洋電機 |
| 東京工業大学 | 東芝 |
| 新潟大学 | トヨタ自動車 |
| 防衛大学校 | ブレインズ |
| 横浜国立大学 | 本田技研工業 |
| 文部科学省科学政策研究所 | 三菱電機 |
| オール大学 | リコー |
| 清華大学 | ローム |

Round-table talk

座談会

TAKAHIDE OYA



進行

profile

大矢 剛嗣

大学院工学研究院
知的構造の創生部門
電気電子と数理情報分野
荻野研究室 助手 博士(工学)

す。おとなしめの飲み会ですけれど、また自分にご褒美という意味で、買い物に行ったりします。

大川 先生に報告します。分からない人に話しても仕方ありませんから、いっしょに飲みに行く人がいないときは、一人で飲む場合もあります。

上野 物を作るのはいくつが段階があつて、僕は段階ごとに「あいつ」とか「やつ」とか「それ」とかって名前をつけているので、うまくいったときには「あいつができた」といつて一人で騒ぎます。研究室のほかの人も多分わかっていないでしょうけど。

豊田 例えばいい実験データが取れたよなときにはまず先生に報告しますし、それから夫が同じ研究をしているので、二人で喜び合いますね。

迷いの元は、就職、資金、それから……

大矢 いま修士課程にいて、これから博士課程を目指すかと迷っていたり、悩んでいる人がいるかもしれません。そんな後輩に資金面も含めてアドバイスがあればお願いします。

豊田 学位取得後、会社に就職を考えているなら、博士になつてからのほうが行きやすい会社もあるし、行きにくい会社もあります。研究分野によると思います。

一方で、研究職で考えているのなら、学会などでは博士で行くと周囲の対応も違うので有益な情報も得られます。長くかかってもいいから、じっくり考えて決めたほうがいいですね。資金的には、例えばドイツの大学では、教授の下で働きながらドクターを取るのがほとんどだと思つたので、日本の大学にもそんな安心感が得られる仕組みがあるかといふと思います。

上野 博士課程は、他人の意見やアドバイスで決めるのではなく、自分で決めていってほしいです。お金のことも、博士課程に入ってみるといろいろの制度や補助があるので、なんとかなつていきますから。

大川 僕はドクターに進んでよかったと思つています。この3年間は貴重な時間でした。修士で就職した以上の経験ができたと思つています。就職に関しても、学会の懇親会などで、企業の人としっかりアピールすれば、何とかなる場合もあります。資金面では、僕の場合は研究支援者として大学に半分雇われている形なので、経済的にはまったく問題ありませんでした。

松本 私はドクターに進むときに、一番考えたのが資金面でした。親に援助してもらつわけにいかないの



profile

豊田 希

システム統合工学専攻
機械システム工学コース
博士課程後期3年

田中・佐藤研究室
研究テーマ 自動車用パワートレインの電子油圧制御システムに関する研究
趣味・特技 映画鑑賞、旅行
研究室では自動車用の変速機の解析や実験をしている。朝8時30分頃に来て、帰りは7時~8時。昼食は弁当を持ってきている。

就職した人はもうお金を稼いでいるけれど、私はまだ学費を払っている立場だ。……【豊田 希】

指導教員に相談しました。いろいろな方法があるので、相談してみることをおすすめします。先生から仕事を請けるといふ形が取れることもあるよつです。

真丸 資金面については、僕は奨学金をもらっています。いろいろな方法があつて、授業料が全額または半額免除される制度もあるよつです。就職に関してはまだに何もやっていないので少し不安ですが、そろそろ考えなくてはいけないと思つています。博士課程に興味があるなら、周りに惑わされずに進んでみればいいのではないのでしょうか。3年あるので、時間はたっぷりあります。後悔先に立たずで、あとでこれをやっておけばよかったと思つても、取り戻すことはできないのですから。

大矢 本日は皆さんありがとうございました。博士課程の現役のご意見、アドバイスは、いま博士課程を視野に入れている人にとって貴重な羅針盤となつたことでしょうか。

Interview

好きなことが自由にできる 期待どおりの環境。



profile
上智大学教授
高尾 智明
たかお ともひさ
超伝導現象を使ってエネルギーを有効利用するための研究に従事。超伝導、電気エネルギーの授業も行う。

平成 4年3月 横浜国立大学 大学院工学研究科 電子情報工学専攻 博士課程後期修了 工学博士
平成 4年4月 上智大学 理工学部講師
平成 8年4月 上智大学 理工学部助教授
平成 15年4月 上智大学 理工学部教授

自由と表裏をなす責任

私は大学院に進む頃には、将来は大学の教員になりたいと考えていました。なぜかというところ、自分の好きなことが自由にできるところといえば、民間の企業より大学のほうが可能性が高いたるところと判断していたわけですが、実際に民間企業にいたことがないので比較はできないのですが、おそらく私の予想と判断は間違っていたのかなと思います。講師と助教授のときを含めて、上智大学に来てからは私が期待していたとおりで、とても満足しています。

あまり「自由」を強調すると誤解されるかもしれませんが、念のため申し上げますが、自由であるということは、それだけ個人的に責任が大きいということでもありません。局面的には、当然不自由さも背負うことになってくるということだと思います。たとえば、十分な研究をしてい



くためには国や企業から研究費の支援を受ける必要があります。応募のための企画書では、目的・方法・成果を定め、予算も提示します。研究期間の終了時には成果レポートも提出しなければなりません。また、研究室の運営ということも、同様に責任の重い仕事です。私の研究室には学部から博士課程まで23名の学生がおり、若し可能性を導いていくということは、教員にとってたいへん重要な仕事です。学識豊かな研究者にならなければならない、それだけに研究テーマを与え、的確な指導を行ない、学会発表を体験させるといったことも個人的な責任で行なうことになるわけです。

研究が存分にできる幸福感
横浜国立大学の学生の頃は、だいたい朝10時から夜10時まで大学に

いました。当時は車で通学していましたが、ラッシュが引ける時間に登校し、その頃は夜11時が閉門でしたから、その少し前に下校、というのが通常の生活でした。月曜から土曜まで学校にいて、正月三が日は休む、という学生でした。学校にいて、研究を続けることが楽しかったし、やりたくて仕方がありませんでした。自分が興味を持ったことがやれるという幸福感と充実感で、日々満たされていたと記憶しています。

博士課程3年の春、上智大学の教員公募がありました。応募しましたら運よく通りまして、それが夏前でした。通るには通ったのですが、そのかわり学位を取らなければならないという条件ですから、なにがなんでも博士号を取らなければならなかった。それはもう死にものぐるいでやりました。そうした時期でも、学校にいて、研究室に詰めきりにならなくて、研究に詰めることが一番大切でした。私は、若い皆さんに、通過点と目標を混同しないように、何を指すのか、そのためにはどこを通過していけばいいのか、ということをしつかり考えていただきたいと思います。

学問は財産。学生のときから 思う存分勉強を。

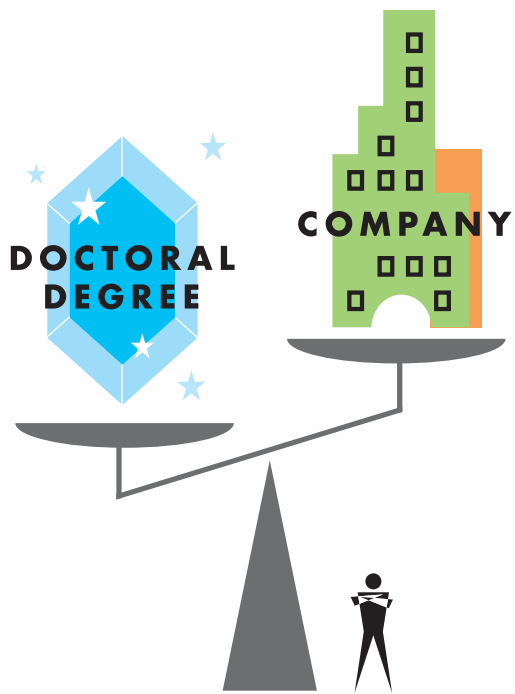


profile
石川島播磨重工業(株)勤務
太田 聖子
おあた さとみ
産業用コンプレッサーなどの回転流体機械の研究開発に従事。

平成16年 3月 横浜国立大学 大学院工学研究科 生産工学専攻 博士課程後期単位取得退学
平成16年 4月 横浜国立大学 大学院工学研究科 助手として勤務
平成16年12月 横浜国立大学 大学院工学府にて 博士(工学)学位取得
平成17年 4月 石川島播磨重工業(株)入社 技術開発本部 総合開発センター 回転流体機械開発部 勤務

就職か、ドクターコースか

平成17年4月に石川島播磨重工業(IHI)に入社しましたが、学部から大学院を経て助手までという長い期間、横浜国立大学に在籍していました。博士課程進学後、単位取得退学し、助手の業務を行ないながら学位審査を受けました。12月に学位を取得し、翌年3月に退職。4月にIHIへ入社しました。私は修士課程を修了するときに、就職か博士課程へ進むか、真剣に考えました。結局、博士課程へ進学することを決めましたが、当時は民間企業に就職していても全然おかしくない状況でした。それは、シーソーの真ん中に立っていたようなもので、何かの拍子にどちら



かに力が加わればどちらへ傾いていくであろう、という感じでした。博士課程に進んでもっと研究をしたいという気持ちと、一方で会社に入ると入って様々な情報や知識を得て、自分の視野を広げたいという思いが絡み合っていたからだと思います。その頃、卒業後の進路で悩んでいた学生は少なかつたような気がしま

るために、主に過度の生成モデルの開発や流れへの適用について研究を行なっていました。IHIに入社した現在は、回転流体機械開発部という部署で、CFDを使って、産業用コンプレッサーなどの回転流体機械の研究開発に従事しています。職場環境は大変すばらしく、業務上の問題解決に対してコミュニケーション

が取りやすく、1人に負担が集中しないように細かいところまで配慮されています。作業を行なう上で安全や環境への考慮が徹底されており、最初は大変驚かされましたが大変重要なことです。また、複数の分野に属した技術者が一同に会し、高度な技術を用いて総合的に1つの製品を完成に導くという、大学ではあまり見ることのできない技術の集約が成されています。就業は基本的にほぼ8時間労働で、週末は必ず休むように徹底されています。私はいまの職場環境や研究内容についてとても満足していますが、1つの製品が多く、技術で成り立っていることを考えると、事業部で直接製品を取り扱う業務を行うことも自分の技術向上のために重要なことだと思っています。

とくどき学部に戻ってもう一度勉強をやり直したい、と思うことがありますが、いま振り返ってみると、もっと積極的に学問に取り組んでおけばよかったと悔やまれることが実はたくさんあります。勉強は若いうちからこそできるということは事実で、学生というポジションにいるときに学問を探究し、勉強を思う存分やるべきです。とくに、基礎的なことをおろそかにせずしっかりと身に付けることで、そのとき学んだことは、10年、20年後に、必ず自分に役立つ知識や技術になります。学問から得られた知識はすばらしい財産なのです。

Data 2

博士課程学生への 経済支援

博士課程後期の学生が、経済的な理由で研究のための時間を削がれたり奪われたりして、学業に専念できないことがないように、さまざまな形で経済支援策が取られています。本工学府の多くの学生がすでに活用しています。

経済支援の概要

経済支援策には、横浜国立大学独自の支援策のほか、公的機関などによる 様々な種類のものがあります。

おもな経済支援実績

	日本学術振興会特別研究員	工学府特別研究員	日本学生支援機構奨学金	授業料免除
金額(月)	200,000円	100,000円 ないし50,000円	第一種/121,000円~122,000円 第二種/130,000円	全額免除 半額免除
人数	14名 (平成18年10月現在)	(平成19年4月開始)	第一種/26名 第二種/1名 (平成19年1月現在)	全額/20名 半額/8名 (平成18年度後期)

独自支援 制度

工学府特別研究員

支給額 10万円/月(5名募集)ないし5万円/月(6名募集)

募集人数は平成19年4月のものです。

博士課程後期を志望する学生を、工学府独自に特別研究員として採用する制度です。

博士課程後期出願前(修士課程2年の春)に内定
経済的に安心して出願、入学及び進学できます。

大学が正式に雇用
職歴となり履歴書に記載できるので、就職時にもプラス
になります。

研究業績、研究計画等に基づいて選考
日本学術振興会特別研究員への申請を義務付け
申請書類の主要部分が兼用できるので、申請の労力が
軽減されます。

日本学術振興会特別研究員に採用された場合は、工学府特別研究員は辞退して頂きます。

日本学術振興会特別研究員

日本学術特別研究員-DC1・DC2 200,000円/月

本制度は優れた若手研究者に、研究に専念する機会を与えることにより、わが国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。大学院博士課程在学者などを対象に、研究奨励金を支給する制度です。

日本学生支援機構奨学金

大学在对学生に対する奨学金の貸与実績が最も高い奨学金システムです。第一種(無利子)、第二種(有利子)などの区分が設けられています。

	申請者数と採択者数	申請者数と採択者数		
		平成16年入学	平成17年入学	平成18年入学
第一種(無利子) 122,000円/月(博士課程後期)		21名	11名	8名
第二種(有利子) 50,000円・80,000円・ 100,000円・130,000円/月から選択		14名	7名	7名

授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業が優秀な学生は、申請者の中から選考のうえ、各学期の授業料の全額または半額が免除されます。

	授業料免除者数	
	平成18年度前学期	平成18年度後学期
申請者	33名	30名
全額免除者	20名	20名
半額免除者	7名	8名

非常勤講師 / ティーチングアシスタント(TA)

専門分野の非常勤講師/TAとして雇用し、学業の本分から外れることなく収入が得られるようにしています。

コース・研究室における研究補助業務の委託

各コース・各研究室で研究補助業務を博士課程の学生に委託し、謝金を支給しているケースが多くあります。詳しくは志望コース、研究室に問い合わせてください。

その他、民間の奨学金制度なども紹介しています。下記あて、気軽に問い合わせてください。

【問合せ窓口】 045-339-3817 横浜国立大学 工学研究院等事務部大学院係



進路は自分の目で耳で 確かめて。

大学院工学研究院 機能の創生部門 分子の機能分野 横山研究室

助手 生方 俊
うぶかた たかし

私がなぜ博士課程に進んだのかを含め、皆さんがあまり知らない博士課程の世界とその後についてお話しします。
皆さんが博士課程に対して不安や心配を抱くのも当然だと思います。研究室に所属しても博士課程の先輩が一人や二人、もしかしたら誰もいないという状況です。しかもその先輩の生活を見ると、とても自分にはできない...なんて感じているのではないのでしょうか。
私も修士学生の時に進路については悩みました。所属していた研究室

には、博士課程の先輩が10人以上もいて、そのキャラクターも十人十色でした。そんな状況で、同期も進学するからということで、何となく博士課程という進路を選んでしまったのです。これは失敗でした。というのは、みんなが進むからこつに進もうという考えがよくないということです。皆さんの中で、もしかして、「みんなが修士で卒業するから博士には行かない」などという方はいらっしゃるのでしょうか。もっと自分の目で見て、耳で聞いて、頭で考えて、進路を決めて欲しいと思

います。
博士課程卒業後、私はなんだかんだで、某研究所でポスドクという職に就きました。研究所では、自分の探求心のまま自ら体を動かすことができました。結果を手に入れた時の喜びは、それは格別です。大学に移ってから、その機会は多少減りましたが、研究と教育を通して、結果を学生とともに共有できます。面倒をみている学生が、予想外の成果を持ってきた時、とっても幸せな気持ちになります。やっぱり失敗じゃなかったな、うん。



博士課程の3年間は 伸び盛りの自分への投資。

大学院工学研究院 知的構造の創生部門 電気電子と数理情報分野

助教授 藤本 博志
ふじもと ひろし

研究者を目指す学生は博士課程へ進学すべきである。諸君の中には、博士へ進むと経済面や就職が心配だと悩んでいる者も多いであろう。これらの心配は杞憂にすぎないことは本パンフレットのデータが示す通りである。経済面に関しては、特別研究員制度などで十分な支援が得られる。その後の就職に関しては、本学の修了生たちは立派な企業や大学・研究機関に就職している。
博士号は医師や弁護士といった国家資格ではない。日本では大学教員などになるための条件にはなっていない。

が、民間企業研究所では必ずしも採用条件になっていない。ところが、海外、特に欧米では博士号は研究者であるための最低条件とされている。この常識が Global Standard として世界に広がっている。日本の企業も海外企業と近年急速に業務提携が進んでいる。そうした中で研究所の研究員は原則博士とする国内企業も出始めている。生き残りをかけた先進国の企業は、それだけ専門性が高い人材を必要としているのである。
修士で就職しても3年間はあつという間に過ぎる。博士課程に進学し、

研究に集中し、自分を成長させるために、20代中盤の3年間という伸び盛りの大事な時間を自分に投資するのである。研究室で世界トップの研究をし、国際会議で発表し続け、時には国内外の他の研究機関に訪問や滞在をする。そんな経験は博士課程でないとできないが、これがその後の研究者としての基礎体力となる。ある研究テーマの世界的なリーダーとなるのが博士の資質というものである。これは本学出身の先輩としての、研究者を目指す諸君へのエールである。

教員から学生へ



横浜国立大学 大学院工学府

【連絡先】

横浜国立大学 工学研究院等事務部大学院係
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
(045)339-3817

http://www.eng.ynu.ac.jp/ENG/jpn_in/index.html
(本パンフレットは上記URLよりダウンロードできます)